

レンギョウ「ジャイアントイエロー」切り枝の 年末年始需要に向けた出荷技術を開発

レンギョウは、春のさきがけとなる花木として、1月から3月に開花させて出荷され、消費者に喜ばれています。しかし、花着きが良く美しい品種「ジャイアントイエロー」は、従来の促成方法では正月に出荷することができませんでした。

そこで、シアナミドを散布した後に促成する技術を開発し、11月下旬でも「ジャイアントイエロー」の出荷が可能になりました。



シアナミド散布処理後に促成したレンギョウ「ジャイアントイエロー」
(促成開始日12月8日 調査日12月21日)

シアナミド無処理(0%)に比べ、1%、2%処理では12月中に開花し、商品性が高いことがわかりました。

促成処理を 11月24日、 11月30日、 12月17日に始めた場合、それぞれ
12月8日、 12月17日、 1月17日に開花しました。

この技術により、レンギョウ「ジャイアントイエロー」は年末からお正月にかけて供給が可能となり、春の花をいち早く手に入れることができるようになりました。

シアナミドは商品名ヒット 13を使用しました。レンギョウの促成には未登録ですが、平成19年度には登録される予定です。

(森林・緑化研究所 森林・緑化担当 TEL 048-536-0347)